

# クルド人難民エルダル・ドーガンさんカナダ出国記者会見



2007年7月10日に、日本在住のトルコ国籍クルド人難民エルダル・ドーガンさん(33才)が、カナダで難民として受け入れられることになり、カナダへ出国することになりました。当初は、日本で難民として認定され、家族とともに暮らすことを望んでいた同氏でしたが、それは叶わず、やむなく家族と共にカナダで新しい生活を築くことになりました。

出国に先立って記者会見を18日に開催します。なお、6月20日は「世界難民の日」です。日本の現在の難民受け入れ状態と共に、日本に住む難民の窮状について、貴社紙面・番組などにてご紹介頂ければ幸いです。

## クルド人難民エルダル・ドーガンさんカナダ出国記者会見

日にち：6月18日(月)

時間：13時～15時

場所：東京弁護士会館  
508A～C号室

(〒100-0013 東京都千代田区霞が関1丁目1番3号)

交通：東京メトロ丸ノ内線、日比谷線、千代田線「霞ヶ関駅」B1-b出口より直通 A1出口より徒歩2分 C1出口より徒歩3分・東京メトロ有楽町線「桜田門駅」5番出口より徒歩8分・都営三田線「日比谷駅」から日比谷公園を通り徒歩8分 JR「有楽町駅」から日比谷口よりお堀沿い徒歩10分



## エルダル・ドーガンさん

エルダル・ドーガン Erdal Dogan さんは、トルコ国籍のクルド人難民。1974年2月1日、トルコ共和国アディアマンで生まれる。トルコ在住中に、民族・宗教的な理由で7回逮捕されたため、1999年1月、迫害を逃れて日本へ。法務省・入国管理局に対し2度難民申請したが、いずれも却下される。2004年7月、法務省・入管職員によるトルコでの現地調査が、政府関係者を同行して行われたため、同氏が日本で難民申請したことをトルコ当局に知られることになった。2006年3月、難民不認定処分取消請求訴訟において最高裁で敗訴。同氏は入管収容歴2回、通算12ヶ月半。

現在は、妻メリイェム Meryem(30才)、長女メルヴェ Merve(8才)、長男メモシュ Mehmet(5才)とともに、キリスト教系難民支援団体のシェルター(難民用避難施設)にて暮らし、生活費など支援者のサポートを得ながらカナダへの出国の手続きを進めていた。

## これまでの経緯

エルダル・ドーガンさんは、在日難民の実態と窮状を日本社会に訴え、世論を喚起するために、2004年7月から9月にかけて、家族4人と、そして同じくクルド人難民であるカザンキラン一家とともに、東京・青山の国連大学ビル前にて72日間の座り込み抗議活動を行った。幼児や子どもも一緒に参加し

たこの抗議活動は、メディアなどでも広く取り上げられ、社会的に関心を集めた。また、この二家族の難民認定を求める署名を同時に集めた結果、6万3千筆の署名が全国から寄せられた。

ドーガン家は、強制送還の危険が常につきまとうため、2004年末からは、日本への難民申請と同時に、支援会による第三国出国も検討していた。

2005年1月、カザンキラン家の父親と長兄がトルコへと強制送還された。国連が認めるマンデート難民の強制送還は、先進国においては前例のないことであった。国連が認めた難民ですら強制送還する日本政府・法務省・入国管理局の強硬姿勢を目の当たりにし、国連のサポートすら持たないドーガン家は、早急に第三国に出国しなければ、強制送還という生命に関わる危険があると判断。ドーガン氏は支援者と共にカナダへの難民申請を決意し、取り組むことにした。その後、国際的なキリスト教団体が一家の保証団体となり、2005年4月、カナダの難民受け入れプログラムに添って申請を出し、審査を待った。2006年4月、カナダ大使館からのインタビューを受けた。2007年5月、難民として受け入れ可能との返答を得て、手続きが進められた。

### 難民認定基準の違い

日本の法務省・入国管理局は、「現在、トルコにおいてクルド人の迫害はない」とのことでエルダルドーガンさん一家を難民として認めていない。しかし、カナダはエルダルドーガンさん一家を「難民」として認めている。また、同時にカナダへの申請を出していたエルダルドーガンさんの弟デニズさんについては、日本人女性と結婚していたため、「日本で然るべき在留資格を得られるはずである」との理由で、カナダは申請を却下している。日本とカナダの難民認定基準の違い、及び在留資格付与の判断基準の差が浮き彫りになっている。

### クルド人問題・日本における難民問題

クルド人は、中東のトルコ、イラン、イラクにまたがる一体の地域（クルディスタン：クルド人の土地の意味）に居住するインド・ヨーロッパ系の民族である。人口は推定4000万人とも言われ、アラブ、ペルシャ、トルコに次ぐ中東で4番目の大規模な民族である。しかし、現在、クルド人の国家は存在せず、クルディスタンはトルコ、イラン、イラク、シリア等の国家に分断され、トルコでは厳しい同化政策を受けている。数千万の人口規模があり、一定の領域に居住しながら独自の国家を持たない民族はクルド人の他にはなく、国を持たない最大の少数民族とも呼ばれる。

日本は国連の難民条約に加盟しているものの、認定数は極めて少なく、認定率も低い。そんな日本の状態は「難民鎖国ニッポン」とも呼ばれている。また、日本においては、クルド人は過去一人も難民として認定されていない。

### ドーガン Dogan 家の家族構成と生年月日( )内・来日年月日

		エルダルドーガンさん 1999年1月12日来日	
夫	<b>エルダルドーガン</b> Erdal (1974.Feb.01)		→
妻	<b>メリエム</b> Meryem (1977.Mar.02)	メリエムさん 2000年5月20日来日	→
長女	<b>メルヴェ</b> Merve (1999.Jan.10)	メルヴェちゃん 2002年4月29日来日	→
長男	<b>メモシュ</b> Mehmet (2002.Apr.25)	メモシュくん 2002年4月25日誕生	→
		デニズさん 2000年5月20日来日	
	エルダルドーガンの弟 <b>デニズ</b> Deniz (1978.Feb.01)		→

連絡先 寺井律子(クルド人難民二家族を支援する会事務局)

Tel:080-3421-0145 / e-Mail:rikko.t.195218@t.vodafone.ne.jp(携帯)